

お知らせ

令和8年7月27日

■同時発表先：島根県政記者会、出雲市政記者クラブ、米子市政記者クラブ、松江市政記者クラブ

大型水鳥類が舞う斐伊川水系 の魅力を活かした地域づくりを進めます

斐伊川水系には豊かな水辺と水田地帯が広がっており、日本を代表する大型水鳥類が安定的に生息することができる環境を有したステキな地域です。

この環境を活かした、大型水鳥類をシンボルとした生態系ネットワーク※1の形成による魅力ある地域づくりを目指して、平成27年度に『斐伊川水系生態系ネットワーク協議会※2』を設立しており、多様な主体と連携した環境保全や地域振興に向けた取り組みを行っています。

この度、第13回目の会議を開催し、来年の出雲市でのトキの放鳥も含めた様々な取り組み内容について議論します。

※1「生態系ネットワーク」とは・・・参考 別紙ー1

※2 正式名称：斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

【開催概要】

- ◆日時：令和8年8月3日（月）14:00～16:00
- ◆場所：国土交通省 松江国道事務所 3F 大会議室
- ◆内容：別紙ー2「議事次第（案）」参考
- ◆参加予定：専門家、関係団体、各行政機関等



出典：環境省 HP
<https://kanto.env.go.jp/wildlife/mat/tokihogozousyoku.html>

※これまでの協議会の詳細については、国土交通省出雲河川事務所のウェブサイトをご覧ください。

リンク先：<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/iinkai/ryuiki/econet/index.html>

【取材について】

<問い合わせ先>

◇国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

副所長

まにわ 真庭 としゆき 利幸

(担当) 流域治水課長

なかの 仲野 けんたろう 健太郎



出雲河川事務所

X (旧Twitter)



出雲河川事務所

HP

◇TEL 0853-20-1761 (流域治水課直通)

斐伊川水系に飛来する大型水鳥



ハクチョウ



ナベヅル



マガン

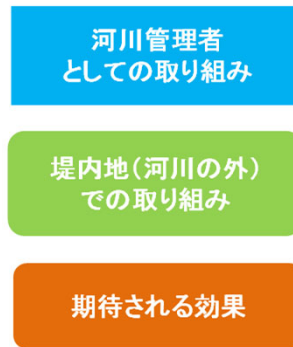


コウノトリ

生態系ネットワークと協議会（斐伊川水系水鳥プロジェクト）の立ち上げ

- 生態系ネットワークとは、生物多様性が保たれた国土を実現するため、保全すべき自然環境や優れた自然条件を有している地域を核として、これらを有機的につなぐ取組。
- 生態系ネットワークの形成に向けた取組を進めることにより、単に地域の自然環境が豊かになるだけでなく、人々の自然との触れ合い機会の増加、地域社会の活性化、新たな経済的価値の創出といった波及効果（地域づくり）が期待できる。

【生態系ネットワーク形成イメージ】



斐伊川水系においては、2015年に
出雲河川事務所が事務局となり、
行政や企業、有識者等からなる
「斐伊川水系生態系ネットワーク
による大型水鳥類と共に生きる流
域づくり検討協議会」（通称：斐
伊川水系水鳥プロジェクト）を設
立した。



第 13 回 斐伊川水系 生態系ネットワークによ
る 大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会
(案)

日 時：令和 8 年 8 月 3 日（月）

14：00～16：00

場 所：松江国道事務所 3 階大会議室
(オンライン併用)

議 事 次 第

1. 開 会
2. あいさつ
3. 規約の改正について
4. 議 事
 - (1) 生物多様性に関する国内外の動向と
斐伊川水系生態系ネットワーク全体構想について
 - (2) 専門ワーキング報告および、水鳥プロジェクトの活動報告
 - ・ 水辺環境等
 - ・ 農地環境
 - ・ 地域振興
 - ・ 環境学習
 - (3) 協議会委員等の活動状況報告
 - ・ 出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク推進協議会による報告
 - ・ 雲南市報告
 - (4) トキの放鳥に向けた取組について
 - ・ 環境省報告
 - ・ 飯塚出雲市長からのビデオメッセージ
 - ・ 出雲市報告
 - (5) 短期目標達成状況の評価と今後の取組について
5. 閉 会